



いまの時代の“新しい紳士”を育成 海城中学校・高等学校

男子校 中編 中転 〒169-0072東京都新宿区大久保3-6-1



本校は、創立100周年を迎えた翌年の1992年を「改革元年」と位置付け、教育改革をスタートさせました。

爾来21年、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下、いまの時代に合ったリベラルでフェアな精神を持つ「新しい紳士」の育成を目標に、教育改革を推し進め

てまいりました。

本校の考える「国家・社会に有為な人材」とは、一言で言うならば「人間力と学力のバランスがとれた人間」のことです。しかも、その「人間力」と「学力」が、新しい時代の要請する新しい人間力と、新しい学力を含み持つものでなくては、「新しい紳士」たりえません。

新しい人間力を育むため アメリカ発の体験学習も

現代は、人やモノ、資本、情報が国境を越えて行きかうグローバルな社会であり、多様な価値観が介在する社会です。そうした社会の中で生きていくには、互いの違いを理解・尊重する共生能力、つまりは対話的コミュニケーション能力が必須です。また、異質な者同士が互いの良いところを引き出し合い、新たな価値の創造をも可能にする、協働、コラボレーションの力が大切です。

そうした能力を育成するために、本校では先ず、生徒会活動・学校行事・クラブ活動をより充実させたほか、10年程前からは、新たな2つの体験学習プログラムを導入しました。

●体験学習ⅡPA(プロジェクトアドベンチャー)

中学1・2年次に、課題を含んだアクティビティに挑みます。たとえば、丸太の上にランダムに乗った生

徒たちが互いに言葉を発せず、生年月日順に並び直すといった課題では、コミュニケーション能力やコラボレーションの力を向上させていきます。また、自己の選択・意思に基づいて挑戦する、高所で恐怖感を伴う課題では、必ず仲間が命綱を握って支えます。それにより、人間が勇気を持って何かに挑戦するとき、信頼に裏打ちされた仲間のサポートが大切だということを学びます。

●体験学習ⅡDE(ドラマエデュケーション)

2つ目の体験学習では、たとえば、班ごとに一人の大人から聞き書きをし、それに基づいて班員皆でシナリオを書き、ドラマとして演じます。一連の作業を通じて、生徒たちは人と人との異質性やイメージのすり合わせ・共有の術を学びます。こうした演劇的手法を用いた学習プログラムは、文部科学省の「児童生徒のコミュニケーション育成に

資する芸術表現体験事業」に採択されています。

新しい学力「Critical Thinking」力を育成

複雑化した現代社会では、難解な諸問題を解決する能力がいままで以上に求められます。そのため、従来の記憶暗記型の学力だけではなく、自ら課題を設定し、調査・熟考し、価値を判断し、分かりやすく伝えるといった「Critical Thinking」の力を育成することが必要なのです。

●各所で高い評価を得る「社会科総合学習」

中1から中3まで、週2時間の「社会科総合学習」の時間では、レポートのテーマを自ら設定し、企業などへ取材し、文献を調べ、自分の考えをまとめ、発表し、レポートに書くことを繰り返して行います。そして中3では、各自が原稿用紙30枚以上の卒業論文を書き上げます。

●第一線で活躍する先輩による「キャリア教育」

将来を見据える力や学習意欲の向上を図るため、「プロフェッショナルとは何か？」といったようなテーマで講演を開催しています。講演者は、財務官僚や企業経営者、大学院の理系の博士課程で学ぶ者など、社会の第一線で活躍する方や、研究の最前線で学ぶ卒業生たちです。

「帰国生入試開始」に続き「グローバル教育部開設」

これまで述べた共生

教育を二層推し進め、世界で活躍するグローバル人材の育成を図るため、2011年度から中学での「帰国生受け入れ」を開始した本校ですが、国際化がますます進む現代において、歩みを止めることはありません。

2012年度は、既存の「帰国生支援室」を取り込むかたちで「グローバル教育部」を開設しました。今後、海外での貴重な生活・学習体験を持った帰国生の力を最大限に伸ばし、活かす体制を整えていきます。ただし、本校の向かう方向は、あくまでも日本の進学校として、インターナショナルスクールでもなく、IB認定校でもない「第3の道」を進みながら、グローバルな人材を育成していくことです。

●「グローバル教育部」における主な取り組み

- ① 語学力の保持・伸長
高い英語力を持つ生徒を対象に英語ネイティブスピーカーの教員による放課

後の特別講習を行うほか、日本語の補習など教科支援を拡充させます。

② 高レベルでの海外交流

中学(アメリカ)、高校(イギリス)で実施している本校独自の海外研修をより充実したものにするとともに、在学中の留学を支援するなど、海外に目を向ける生徒の便宜を積極的に図っていきます。

③ 海外大学への進学支援

大学進学に際しては、海外の大学も選択肢の一つとして考えられるように、TOEFL® & SAT® の対策や書類作成など、さまざまな面においてバックアップしていきます。

④ ぶ厚いリベラルアーツ

ここぞというときに、ぶれることのない真のグローバルリーダーを養成するべく、IBのカリキュラムも参照・研究しつつ、教養教育を充実させ、哲学的な思考力や社会的なフェアネスの精神を涵養します。

帰国生入試 生徒募集要項

募集人員	男子30名	出願期間	平成25年12月9日(月)～平成26年1月6日(月) 取扱時間：日・祝を除く、平日午前9時から午後4時まで(土：正午まで)。ただし、年末年始の休業日(12/28(土)～1/4(土))を除く。郵送は12/20(金)必着。
応募資格	①平成26年3月小学校卒業見込みの方。 ②同居の保護者、または保護者の認める成人のもとから通学できる方。 ③平成20年4月1日から平成26年3月31日までの間に2年以上海外に在住し、かつ、平成23年7月1日以降に帰国した方。 ◇帰国生の受験者は、一般入試①・一般入試②も受験可能です。	出願手続	入学願書・受験料振込票・受験票・面接カード 海外生活証明書
科目	新たに「英語」を含むC方式を追加 【A方式】算数・国語・社会・理科・面接 【B方式】算数・総合・面接 【C方式】算数・総合・英語・面接※A・B・C方式のいずれかを選択。算数はA・B・C方式共通問題 ※面接はいずれも10分程度、受験生のみの面接時に「生活していた国や地域と日本との違いについて2分程度の日本語スピーチあり	試験日	平成26年1月7日(火)

2013年度 大学合格実績

国公立大学	()は現役
東京大学	40(28)
京都大学	10(9)
東京工業大学	14(12)
一橋大学	16(12)
国立医学部	44(23)
私立大学	
早稲田大学	176(114)
慶應義塾大学	131(87)
※国立医学部には東大理Ⅲ3名・歯学部3名・薬学部3名・看護学部3名・保健医療大2名を含む。 ※上記は、4月20日現在判明分からの抜粋。	